令和５年度 第１３７回 飯塚市立飯塚小学校 卒業証書授与式 学校長式辞

桜のつぼみが膨らみはじめ 春の訪れを感じる今日の良き日、飯塚市立飯塚小学校第一三七回 卒業証書授与式を挙行するにあたり、飯塚市教育委員会 学校教育課長 桑原 昭佳 様、本校 ＰＴＡ会長 駒山 晃 様、飯塚第一中学校 校長 小林 広史 様をはじめ、ご来賓の皆様にご臨席を賜り、心より御礼を申し上げます。

今年は、久しぶり地域の方々にもご来賓として六年生の門出を見守っていただくことができ、大変にうれしく思います。ありがとうございます。

さて、飯塚小学校を巣立ちゆく 四十八名の皆さん、卒業おめでとうございます。

卒業証書を手にした皆さんの姿は、凛として頼もしく、堂々としたたずまいに六年間の確かな成長を感じます。

小学校生活の様々な場面を思い返してみると、そこにはいつも皆さんの笑顔があり一生懸命努力する姿があり、下級生や周りの人を気遣う優しさに溢れていました。

六月の修学旅行では、感染防止のための行動規制がなくなり、友達とたくさん話をし、大声で笑い合い、楽しい時間を過ごしましたね。行く先々で真剣に学び、礼儀正しくふるまう皆さんをとても誇らしく思いました。

十月の運動会では、最上級生として、時には優しく時には厳しく、みんなのやる気を高め、ブロックを一つにまとめていく六年生を大変頼もしく感じました。

毎月の全校集会では、素晴らしい合唱を披露してくれましたね。皆さんの美しい歌声が全校みんなの心に響き、優しさを伝えてくれたり、勇気を与えてくれたり、励ましてくれたりしました。六年生の澄みきった美しい歌声は、皆さんの純粋でまっすぐな心を映し出していて、聞くたびに私たちの心も浄化されていくようでした。

そして、先日行った「六年生を送る会」での合奏は、難しいことに挑戦することの大切さ、諦めることなく努力を続けて、最高のものを作り上げることの素晴らしさを後輩たちに教えてくれました。みんなが力を結集することで、最高の演奏ができるということを皆さん自身も感じたことでしょう。

さて、皆さん、改めて卒業証書を受け取った「自分の手」を見てください。

その手は、この六年間、どんなことをしてきたでしょうか。

朝起きたらその手で顔を洗いました。箸を持ち、ご飯を食べました。一年生に入学して、初めて教科書を手にしてページをめくり、本を読むことを覚えました。鉛筆を持って沢山の文字や絵を書きました。ボールを握って投げたり、縄跳びを回したりしました。入学した時、小さくて頼りなかったその手は、六年間の暮らしの中で器用さを身に付け、学校生活の中で できることを増やしてきました。

それだけではありません。その手は、一年生の手を引いて一緒に登校をし、優しさを伝え、安全を守る手にもなりました。友達の肩にそっと置かれ、「大丈夫だよ」と励ます手にもなりました。楽器を演奏し、多くの人を感動させる手にもなりました。おととい、修了式の後、皆さんと手をつないで一つの輪になりゲームをしましたね。あの時の感動は、生涯忘れられない思い出になりました。

こうして、皆さんの手は、人の心をつなぐ役割もしてきたのです。

皆さんがこれから歩んでいく未来は、皆さんが創り出していきます。

これからの世の中は、変化が激しく予測困難な時代だと言われています。皆さんの手が、平和で幸せな未来を築く、強く、優しく、頼もしい手になることを心から願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございます。保護者の皆様が注がれてきた深い愛情とこれまでのご苦労に敬意を表しますとともに、六年間の長きにわたり 本校の教育にご支援とご協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

それでは、卒業生の皆さん、お別れの時です。

この飯塚小学校は、皆さんのふるさとです。ここで、たくさんの人に愛され、大切にされて成長してきたことをこれからも忘れずにいてください。そして、飯塚小学校で培った「やさしさ」と「かしこさ」と「たくましさ」に自信と誇りをもって、これから出会う困難を乗り越えていってください。

皆さんの将来が夢と希望で輝くことを願い、式辞とします。

令和六年三月十八日　　飯塚市立飯塚小学校　校長　津野 真須美